

# ボールの特性レポート

## BALL REPORT



ボール名	ライジング	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.500	△RG	0.052	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

**テストボール**

フレアーの幅  インチ

表面加工

箱出し状態

加工

ペーパー

ポリッシュ

PAPからピンとの距離 **4 3/4** インチ

研磨剤

番

**比較対照ボール：フェニックス・ニューブリッド**

フレアーの幅  インチ

表面加工

箱出し状態

加工

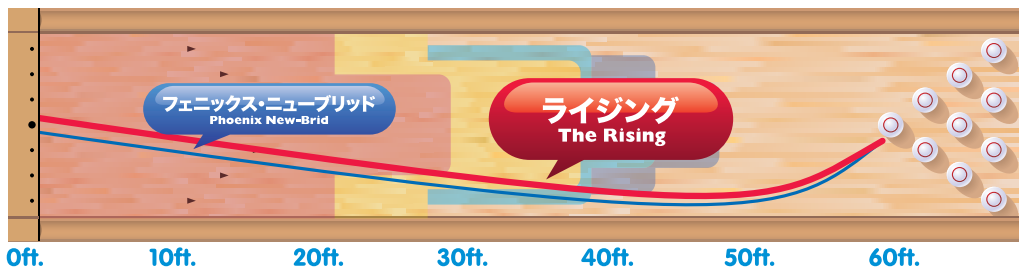
ペーパー

ポリッシュ

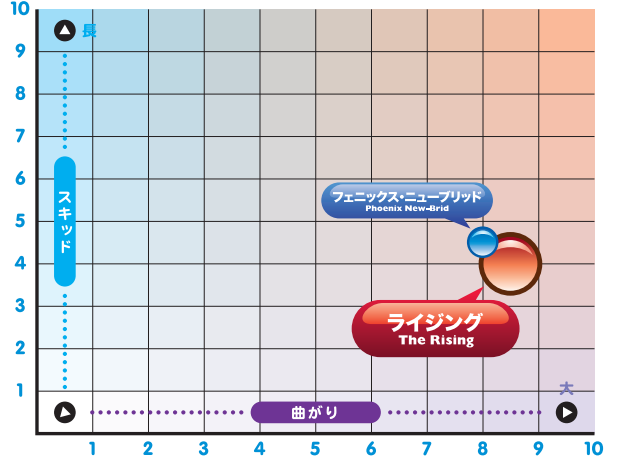
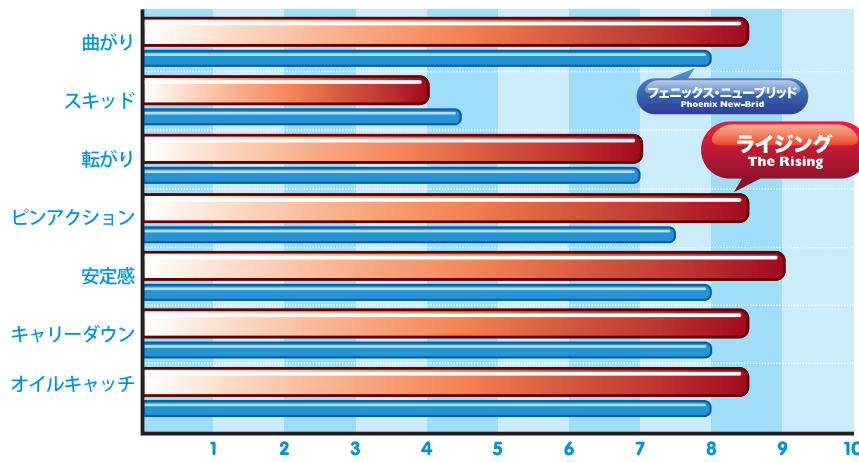
PAPからピンとの距離 **4 3/4** インチ

研磨剤

番



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



レーンコンディション

バックエンドリアクション

レンジス

Light Oil, Light to Medium, Medium Oil, Medium to Heavy, Heavy Oil

Smooth, Smooth to Arc, Arc, Arc to Sharp, Sharp Angle

Early Roll, Early to Med, Med-Lane, Med to Late, Late Roll

**ボールの評価**

**特記事項**

先日行われたMKチャリティーカップでABS専属・山本勲プロがトラックのキネティックで優勝致しました。実力もさることながらその優勝を支えたのはトラックのコアとカバーストックのテクノロジーです。今回このライジングはカバーストックは公表されているものの、コア形状はテスターにさえ伏せられていました。このライジングに使用されているコアテクノロジーは滑らかに弧を描く独自のマスバイアスコアを使用しており、トラック最大のモーションポテンシャルを引き出し、MEGA TRONと名付けられています。投球したイメージは**最後まで滑らかに動き続けるストロングアーク状で、オイルに強いHP GEN1、リアクティブに強いマスバイアスコアの組み合わせは相当量のオイルとキャリアダウンに対応できるボールに感じました。**MEGA TRONコアの影響がミッドエリアでの強いモーションポテンシャルを感じるので、大きく幅は取れますがドライゾーンで過激に反応を見せる性能ではなく、ゲーム進行中にキャリアダウンを感じ、ラインがタイトになり始めたと感じた時にオイルの中を泳がすように投球すると、このライジングが有効に使えます。

私は気に入ってこのボールを使用していますが、**曲がり始めが早めなのに最後まで力強く動いてくる感じとピンアクションの柔らかさは群を抜いています。**派手さはないものの曲がってくる安心感と柔らかいピンアクションはある程度ポケット付近にボールを集めてあげれば倒れる感じさえします。

曲がりりとピンアクション・扱いやすさを兼ね備えたトータルバランスが優れた性能をお試しください。

**ミッドエリアでの動き始めがオイル上での安定感と強さを感じさせます。ヘビーなオイルでミッドエリアから曲がりのイメージが欲しいときに、このライジングは使えます！**